

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	×	
対象学科	1年生全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る インターンシップへの不安を解消し、やる気と自信を生む 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う				
学習目標 (到達目標)	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション (学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ)				
11～20	クラスインフォメーション (学年イベントについて知る・身だしなみ・インターンシップについての説明・実習着の採寸など)				
21～25	パソコンの設定・使い方指導		演習		
26～30	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流				
31～40	英語のレベルチェックテスト、クラスホームルーム				
41～50	クラスインフォメーション、インターンシップ面談				
51～54	海外研修旅行説明会				
55～60	インターンシップ前座談会				
61～65	インターンシップレポート、インターン先下調べ、大掃除				
66～70	インターンシップ振り返りレポート作成、後期時間割説明				
71～75	学年決起スポーツ大会の実施				
76～80	避難訓練、業界セミナー				
81～85	海外研修旅行説明会				
86～90	海外研修下調べ				
91～95	求職登録面接対策				
96～100	アンケート実施、履歴書用写真撮影、クレベリン実施、クラス交流、大掃除				
101～105	時間割説明、今後のスケジュールについて				
106～130	求職登録面接、就職対策				
131～135	学年交流、修了式、大掃除				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	55
授業概要、目的、授業の進め方	セブ留学やカナダ留学など、国際ホテル科のみのインフォメーションやキャリアデザインを行う				
学習目標 (到達目標)	留学時に困らないように知識をつける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリントなど				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	外資系ホテル研修についてのインフォメーション				
3～7	外資系ホテルの企業研究 実際に訪問するホテルについて調べる				
8～12	外資系ホテルの企業研究 特別授業を受ける				
13～24	外資系ホテル研修（1泊2日の研修）				
25～31	セブ留学についてのインフォメーション・調べ学習				
32～36	留学振り返り				
37～55	カナダ留学についてのインフォメーション・調べ学習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出欠席50%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		就職対策			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え		テキスト P.6～		
3 4	就職活動の流れ		テキスト P.14～		
5 6	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.18～		
7 8	自己分析課題の発表				
9 10	職業を知る 自己分析		テキスト P.27～		
11 12	インターンシップ企業研究 目標の書き方				
13 14	履歴書・エントリーシートの書き方				
15 18	就職研修				
19 20	インターンシップ企業振り返り 情報収集・企業研究				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○		
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	パート1 マジックドア1 夢と目標			個人作業・グループディスカッション	
2	パート1 マジックドア2 間違っった思い込みと言いつ			個人作業・グループディスカッション	
3	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①			個人作業・グループディスカッション	
4	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②			個人作業・グループディスカッション	
5	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう			個人作業・グループディスカッション	
6	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる			個人作業・グループディスカッション	
7	パート2 マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			個人作業・グループディスカッション	
8	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する			個人作業・グループディスカッション	
9	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう			個人作業・グループディスカッション	
10	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			個人作業・グループディスカッション	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう 留意する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		コミュニケーション			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 社会においてコミュニケーションの大切を知る 2. あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウィネット コミュニケーション技法・コミュニケーション検定 公式ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする ・効果的な自己紹介の方法		講義 グループディスカッション		
2	コミュニケーション定義				
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう		講義 グループディスカッション		
4	公式ガイドブック ・聞く力		講義 チェック問題を解答→解説		
5 6	公式ガイドブック ・話す力		講義 チェック問題を解答→解説		
7 8	公式ガイドブック ・来客対応 ・電話対応 ・アポイントメント 訪問 挨拶		講義 チェック問題を解答→解説		
9 10	公式ガイドブック ・接客営業 ・クレーム対応 会議 取材 ヒアリング ・面接		講義 チェック問題を解答→解説		
11	模擬問題練習		チェック問題を解答→解説		
12 13	過去問題 1		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
14 15	過去問題 2		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
16 17	過去問題 3		問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習		
18	不得意箇所の克服		過去問 1・2・3の苦手問題を再トライ		
19 20	過去問題 4		検定を想定して、マークシートにより問題を解く		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、 授業態度20%		全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターナショナルホスピタリティ				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	留学に行く国についての基礎知識を覚え、現地での生活に役立てる。 1. 世界の国の数や言語、日本の主な「数字」について感覚をもつ 2. 訪日客として多い国について調べ、そこからわかったことをまとめる 3. フィリピンの特徴や文化を調べる、まとめる 4. カナダの特徴や文化を調べる、まとめる				
学習目標 (到達目標)	留学時に相手国のことを分かった上で、行動や判断ができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	日本政府観光局HPのダウンロード資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリティとは何か		レジメ資料		
2	ホスピタリティの事例と実体験		ディスカッション		
3	日本の主な数字(国土、人口、男女比など)		ダウンロード資料やレジメの配布		
4	訪日外国人旅行者についての数字(人数、前年比、月別など)		ダウンロード資料やレジメの配布		
5	訪日外国人旅行者についての数字(人数、前年比、月別など)		ダウンロード資料やレジメの配布		
6	フィリピンからの訪日外国人観光客の特徴		ダウンロード資料やレジメの配布		
7	フィリピンからの気候・文化・風習		ダウンロード資料やレジメの配布		
8	カナダからの訪日外国人観光客の特徴		ダウンロード資料やレジメの配布		
9	カナダの気候・文化・風習		ダウンロード資料やレジメの配布		
10	全体のまとめ レポート提出の指示		ディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート50%、学習意欲50%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			訪日外国人観光客に対して、ホテルスタッフがすべきことや理解が必要なことを身につけていくうえでの第一歩の授業なので、世界地理の知識は事前に学習の指示を出す必要がある。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ WORD2019クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	テキスト～36pまで			実習	
2 3	文書の編集			実習	
4 5 6	文書の印刷 文書の作成			実習	
7 8 9	表を使った文書の作成			実習	
10 11 12	図形や画像を使った文書の作成			実習	
13 14	検定対策 問題集 練習問題 1・2			実習	
15 16	検定対策 問題集 練習問題 3 模擬問題1			実習	
17 18	検定対策 問題集 模擬問題 2・3			実習	
19 20	検定対策 問題集 模擬問題 4・5			実習	
21 22	検定対策 問題集 模擬問題 6・7			実習	
23 24	サンプル問題			実習	
25	ワード文書検定3級 受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴					



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標 (到達目標)	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パワーポイントの基本操作 プレゼンテーションの作成		実習		
2	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成		実習		
3 4	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク		実習		
5	スライドショーの実行 プレゼンテーションカスタマイズ		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			任意検定のパワーポイント検定初級を受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	実用英検対策(英会話)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介ができ、各単元の表現ができる。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 5th(student book) リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	簡単な自己紹介フレーズを板書し、自分の自己紹介を英作文する。連語の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学び、英作文できる。				
3~6	Unit 1 Where are you from? Introductions and greetings; names, countries, and nationalities の基本文法をピックアップし、一連の流れや表現方法を理解できる。				
7~10	Unit 2 What do you do? Jobs, workplaces, and school; daily schedules; clock time PROGRESS CHECK PAGES 14-15		単語テストあり		
11 12	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
13 14	総復習				
15 16	Unit3 How much are these? Shopping and prices; clothing and personal items; colors and materials				
17 18	Unit4 Do you play the guitar? Music, movies, and TV programs; entertainers; invitations and excuses; dates and times				
19~21	PROGRESS CHECK PAGES 28-29		単語テストあり		
22~24	Unit5 What an interesting family! Family members; typical familiesの表現に対する答え方を理解し、使い分けて表現できる。質問、答える側のどちらになっても使い分けができる。				
25~27	Unit6 How often do you run? Sports, itness activities, and exercise; routines				
28 29	PROGRESS CHECK PAGES 42-43		単語テストあり		
30 31	Unit 7We went dancing! Free-time and weekend activities				
32 33	Unit 8 How's the neighborhood? Stores and places in a city; neighborhoods; houses and apartments				
34 35	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員準2級を取得しており、中学英語までは理解できている。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	実用検定対策（準2級）				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。</p> <p>2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。</p> <p>3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。</p>				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	英検問題集、プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	過去問題を用いて30分程度のレベルチェック（リスニング含む）を再度行い、解答する。		レベルチェックテスト		
3～12	準2級で多く出題される時制文法（未来形・完了形など）について英語表現の違いと意味を言え、書ける。発音できる。過去問題集からリスニングを10分行う。		単語テストあり		
13 14	過去問題からリスニング問題を1回分（30分）実施し、今までの学習内容が耳から理解できるか試す。解答する。		単語テストあり		
15	【期末テスト】 今までの学習内容を問題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		期末テスト		
16～18	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークをし、ロールプレイで発音を確認する。				
19～30	準2級で出題される文法、構文を中心に学習する。リスニングCDの活用		確認テストあり		
30～34	過去問題集を集中して解く リスニングを集中して解く		単語テストあり		
35	振り返り・まとめ		本番の試験終了後にまるつけと2次対策		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>定期試験60%、学習意欲40%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>すでに英語検定3級に合格している、またはレベルチェックテストで3級合格相当の学力があると判定されている学生たちのクラスです。高校1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。アプリの活用をする。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実用英検対策（3級）				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が検定合格や会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	中学英文法を終了するドリル プリント教材 リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	レベルチェックテストの解説を行い、自分のレベルの把握ができる。簡単な自己紹介フレーズを板書し、自己紹介を英作文する。		テキスト発注する		
3～14	3級で多く出題される文法や構文の学習。リスニングCDの活用。単語テスト		テキストの配布／確認テストあり		
15	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		期末テスト		
16 17	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークをし、ロールプレイで発音を確認する。				
18～27	英検3級で良く出題される文法や構文を学習する。リスニングCDの活用。		確認テストあり		
28 29	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
30～34	リスニング・英作文対策 過去問題集の解答解説・見直し		単語テストあり		
35	振り返り・まとめ		本番の試験終了後にまるつけと2次対策		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			入学前の英語実力テストにおいて、3級合格レベルに達しなかった。英語に苦手意識をもっている。アプリケーションの活用を忘れない。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名		Basic English Communication			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1～3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	<p>留学に行く国についての基礎知識を覚え、現地での生活に役立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校までの基本文法の復習（文型・品詞・動詞）</li> <li>2. 高校までの基本英文法の復習（時制・仮定法・分詞）</li> <li>3. 自分の苦手な文法を決め、ペアワークの相手がわかるように授業を組み立てる</li> <li>4. 模擬家庭教師として教える。相手に伝えるときの言葉遣いと共に自分の文法理解に役立てる</li> </ol>				
学習目標 (到達目標)	英文法の基本の総復習をし、自分の知識不足の分野や伝え方のくせ、改善点ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC 公式問題で学ぶボキャブラリー（一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会） TAC TOEIC L & R TEST 受験準備 基本英文法+αコーステキスト（TAC）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	単語テスト（和訳 200問）		TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリーより出題・問題を解き、まるつけ後、発音チェック		
34	単語テスト（英単語 50問）		TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリーより出題・問題を解き、まるつけ後、発音チェック		
5～8	Unit7 動詞の時制（完了形2）/Unit 8 動詞の時制（未来形）		TOEIC L & Rのテキストの問題を解く・解説		
9	単語テスト（英単語 50問） ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
10	ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
11～14	Unit10 形容詞と副詞 / Unit 12 品詞		TOEIC L & Rのテキストの問題を解く・解説		
15～18	Unit 13 動詞の時制（完了形2）		TOEIC L & Rのテキストの問題を解く・解説		
19～25	ペアワーク・期末テスト準備		今までに習った英文法の中から、一単元を選び授業を組み立て発表する。そのための準備を進める		
26～30	単語テスト（英単語 50問） ペアワーク（期末テスト）		ペアワーク授業の発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>基本英文法は理解している部分も大きいと思うが、それを相手に分かりやすく教えるための言葉選びや例題準備への姿勢が重要。英語を理解しながらも、伝える語彙力や教える気配りが、日常生活や社会人となったときの態度や評価につながり、英語以上に活かせることも伝える。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Communication I				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1～3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	英語での会話量を重視する授業。 基本のフレーズを学習した後、お題についての英文や事例を参考に英語でのディスカッションを中心に進める。				
学習目標 (到達目標)	インプットしている英語を間違ってもいいからアウトプットしようと努力する。英語で話すと楽しいとわかる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	日常会話 自己紹介 他己紹介を英語で行う		プリントを使いながら進める。		
3 4	ディスカッションや自己表現をするときによく使われる話題や表現、単語、発音を学ぶ。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
5 6	今回のテーマ life on Earth. ディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
7	事例に対して、自分の意見をまとめる。表現を聞く。ディスカッションの準備を行う。今回のテーマ Literacy and Education				
8	Literacy and Educationのディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
9 10	Wedding のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
11 12	Japanese Food のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
13 14	Sport のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
15 16	Fashion のディスカッション。表現の復習。		わからなかった単語を書き出し復習を促す。		
17～20	期末テスト準備 3人一組 チームでテーマを決めて、ディスカッションをコーディネートする。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
単語テスト20%、実習課題60%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英検準2級レベル。とにかく話をさせるように、身近な話題から取り掛かるように工夫する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅠ（実務）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 （到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る		
2	第1章 料飲部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
3	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ		
4	第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
5	第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
7	第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースを概要を学ぶ		
8	第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
9	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		料飲サービスⅠ（演習）			
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	なし		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップ前に必要な知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。				
学習目標 （到達目標）	お客様のお迎えからお見送りまでの一連のレストランサービスができるようになる。 インターンシップ前にサービスに対する不安を解消する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践		お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ちを実践し、お皿の重さを感じてみる。		
3、4	①プレートサービスと下げの方法の理解と実践 ②トレイ、グラス、ウォーターピッチャーの扱い方や運び方の理解と実践		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
5、6	①サーバーの扱い方の理解と実践 ②ワインボトルの扱い方、サービスの実践		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
7、8	①前回の復習、一連の流れ（パン、プレートサービス、下げ） ②一連の流れ練習（トレイでのグラスサービス、水サービス、ワインサービス）		2つのチームに分かれて実践し、交代して授業を行う		
9、10	①②一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
11、12	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、水、パン、ワイン、プレートサービス、下げ、離席補助m、お見送り）		しっかりと一連の接客ができるように練習する		
13、14	実技テスト①		4名ずつ実技テストを行う		
15	実技テスト②		4名ずつ実技テストを行う		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		インターンシップの前に基本的技術が身につくように、日々の授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身につけてください。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅡ（実務）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インターンシップで学んだ知識を振り返るとともに、料飲に必要な知識を座学形式で身につける。自身の進路も考えながら、料飲部門の魅力を感じる。				
学習目標 (到達目標)	前期に学んだ料飲部門の知識を振り返り、深めるとともに新たな知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップ振り返り、前期知識振り返り				
2	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
3	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
4	第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
5	第5章 朝食の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
6	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
7	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
8	2年次のコース選択のための講義・実演		料飲部門の仕事の魅力を講義で伝え、技術の実演を行う		
9	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			前期に基本的な知識だったものを、後期は細かく学んでいき、1つ1つの知識を深めていきます。料飲の世界の奥深さや魅力を身をもって感じてきたことを改めて実感してほしいと考えています。そこから、自身の2年次のコース選択や国家検定取得に向けた意欲につなげてほしいとも考えています。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅡ（演習）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>前期で学んだ技術が身についているか確認し、インターンシップ中に学んだ個々の技術も確認し、成長を実感する。</p> <p>また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>前期技術がしっかりと身についている。インターンシップで学んだサービスを振り返る。</p> <p>更に高度な技術を実践を交えて身につける。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	インターンシップ経験確認と前期技術の振り返り				
3、4	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式		
5、6	スープチュリーン、ワイン抜栓を実践で学ぶ				
7、8	テーブルクロスの敷き方、畳み方等実践で学ぶ				
9、10	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ 確認テスト		前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>			<p>様々な技術がある中の基本的なものが自身に身についているかどうか確認をしてください。細かいことのようにも、それを実践することがお客様のためになっているということも実感してほしいです。インターンシップで経験したお客様との接客を思い出し、2年次のコース選択をどうするのかしっかりと考えるきっかけにもなってほしいと考えています。</p>		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

科目名	ホテル概論Ⅰ				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホテルや宿泊産業の概要、種類・形態とその組織、及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ガイダンス/ホテルの種類・組織・職種・ホテルで働く魅力		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの成り立ち・歴史/ホテルの形態				
3	宿泊部門の仕事(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
4	料飲部門の仕事(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
5	宴会部門(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
6	ブライダル部門の仕事(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
7	セールス&マーケティング部門(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
8	セールス&マーケティング部門(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
9	管理部門の仕事(組織・職種・業務内容・基礎知識)				
10	ホテルで働く資質・心構え/キャリアプラン				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50% 授業態度10% レポート40%			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員(サービス全般)に6年間携わった				

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○		
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	知識だけではなく、職業観を意識させていく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	挙式に関する由来について理解	実務			
5～8	披露宴に関する理解	実務			
9.10	前期のまとめ	実務			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		学んだことを積極的に人に伝える。 職業を意識しながら理解を深める。			
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、社会に出たときに知っておくべき葬儀の一般的な参列マナーや社会常識を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	確認テスト				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	冠婚葬祭の言葉の意味を知る。クイズを通して葬儀業界を身近に感じてもらう。		パワポで説明。レジュメを配布。		
2	葬祭を取り巻く環境（死亡者数増加～遺族の要望の多様化）を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
3	葬儀の一般的な流れと最近の葬儀スタイルを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
4	葬祭業の職種を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
5	ケーススタディからオリジナルの葬儀プランを考える		パワポで説明。レジュメを配布。		
6	葬儀後の法要について学ぶ		パワポで説明。レジュメを配布。		
7	遺族の心理（グリーフ）の症状とそのケアを学ぶ		パワポで説明。レジュメを配布。		
8	香典の表書きの意味と内容を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
9	通夜・葬儀に参列するときのマナーを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			葬儀の業界用語は専門用語が多いため、かみくだいた表現で説明しなければならない。社会に出たときに知っておくべき一般常識の範囲を伝える。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	宿泊実務Ⅰ				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホテルのベル業務を中心に荷物預かりや客室案内、EV乗降方法を学び、インターンシップにつなげる。				
学習目標 (到達目標)	1.宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を習得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	適宜、レジユメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	宿泊部門の業務		レジユメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3 4	ドアマン・ベルマンの仕事内容		レジユメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
5 6	フロントサービス (エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで)		各グループに分かれて実践演習 (ロールプレイ)		
7 8	フロントサービス (エントランス～ロビー～フロントデスク案内まで)		↓		
9 10	フロントサービス (フロントデスク～エレベーター～客室まで)				
11 12	フロントサービス (フロントデスク～エレベーター～客室まで)				
13 14	イレギュラー対応				
15 16	実技テスト実施①		テスト		
17 18	実技テスト実施②		テスト		
19 20	まとめ/振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%			宿泊関連業務の基礎、やりがいを学び、インターンに向けての実践的な実務を可能にする。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	客船乗務員 (サービス全般) に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル概論Ⅱ				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1.マーケティング部門、総務人事部門、施設管理部門、仕入購買部門、経理会計部門の業務知識の概要を把握する。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテルの管理部門の業務内容の把握と体系的な基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ガイダンス/マーケティング部門の業務内容・役割		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3.4	人事・総務部門の業務内容・役割		↓		
5.6	仕入・購買部門の業務内容・役割				
7.8	施設管理部門・経理会計部門の業務内容・役割				
9.10	期末課題/まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50% 授業態度10% レポート40% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後 に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員(サービス全般)に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	プロトコール				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	NPO法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。				
学習目標 (到達目標)	マナー・プロトコール検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナー&プロトコールの基礎知識				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション、マナーやプロトコールを学ぶ意義 第1章 マナーの歴史と意味		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
2	第2章 国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則、パーティ、国旗		
3	第3章 社会人に必要なマナー		言葉遣い、話し方、服装 贈答（祝儀、不祝儀、袱紗）、手紙のマナー		
4	第4章 ビジネスシーンのマナー		会社の仕組み、電話対応 来客対応（茶菓対応）、ビジネス文書、電子メール		
5	第5章 和食のマナー		和室のマナー		
6	第6章 西洋料理のマナー		西洋料理とアジアの食事のマナー		
7	第7章 冠のしきたり		主な通過儀礼		
8	第8章 婚のしきたり		婚約、結婚式のマナー		
9	第9章 葬のしきたり		葬儀、法要の日本知識		
10	第10章 祭りのしきたり 模擬問題		年中行事		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）20%、検定合格30%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			マナーは人と人をつなぐ潤滑油。お付き合いに必須の冠婚葬祭のしきたりや食事の作法、通過儀礼などが確認できます。 社会人として必要なビジネスマナーや異文化交流の基本となるプロトコールは、業種や職種が変わっても必要なものです。生涯にわたって役立つものです。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	ホテル・ブライダル・葬祭業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音が出る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5 6	メイク練習		ヘアメイク実習		
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
9 10	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
11 12	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しいお辞儀の仕方		実習		
13 14	ストレッチ 表情 ウォーキング 美しい座り方		実習		
15 16	話し方:発声・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
17 18	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
19 20	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	1年・国2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者に向けて発表する				
学習目標 (到達目標)	進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	進級制作発表会の概要と心構え				
3 4	テーマ・タイトル決め				
5 6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
7 8	スケジュール作成				
9～22	制作時間				
23～26	チームごとのリハーサル①				
27～34	チームごとのリハーサル②				
35～45	制作時間				
46～55	全体リハーサル				
56～60	最終リハーサル				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		TOEIC I			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	<p>TOEICの基本を知り、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。</p> <p>2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、500点を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1	写真描写問題 問題形式を把握する	CDを使いながら問題を解き、解説する P45～		
56	Part2	WH疑問文について	CDを使いながら問題を解き、解説する P57～		
7～10	Part3	会話問題	CDを使いながら問題を解き、解説する P69～		
1112	Part4	放送文の冒頭で、トークの種類を聞き取ろう	CDを使いながら問題を解き、解説する P81～		
1314	Listening 期末テスト		過去問題にチャレンジ		
15～26	Part5	問題形式を把握しよう 名詞 時制 現在分詞など	問題集の問題を中心に解いて、解説する P95～		
27～31	Part7	解答の手順を理解し、テクニックを知る	問題集の問題を中心に解いて、解説する P177～		
32～35	期末テスト		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>Listening定期試験40%、Reading定期試験40%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression I				
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×		
対象学科	国際ホテル科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	雑誌やDVDなどから日常表現を学び、同じスピード、発音をもって話せるようになる。 1、身の回りの表現を英語で話してみる、自分のこと、家族のこと、得意なことなど 2、DVD、洋楽の表現からスピード、発音の練習 3、英語で表現する楽しさを体感する				
学習目標 (到達目標)	日常表現を身につけ、留学時に役に立てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	イントロダクション 自己紹介		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
3 4	Family Treeを作る、英語で家族構成を言える、説明できる				
5~26	DVD Friendsから表現を学ぶ 洋楽から表現を学ぶ		DVDや洋楽を適宜使いながら進める。		
27~32	自分ストーリーを織り交ぜた、紙芝居をつくる		自分を表現するための英語は各自調べて、質問をする。		
33~38	TEDからの引用でスピーチをまねてみる		表現はもちろん、表情や間も意識する		
39 40	各自のシェアタイム		先生、他学生からの評価を受ける		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
宿題チェック 20% テスト 20% 学習意欲60%			英検準2級レベルの学生たちなので、基本文法よりも日常会話や身近な表現をもとに進めるほうが効果的である。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				